

災害データ検索の操作方法

① ホームページトップ画面



「災害データ検索」をクリック

② 災害データ検索画面



※
労働災害発生状況の項目をクリック
⇒以下の②-i 画面へ

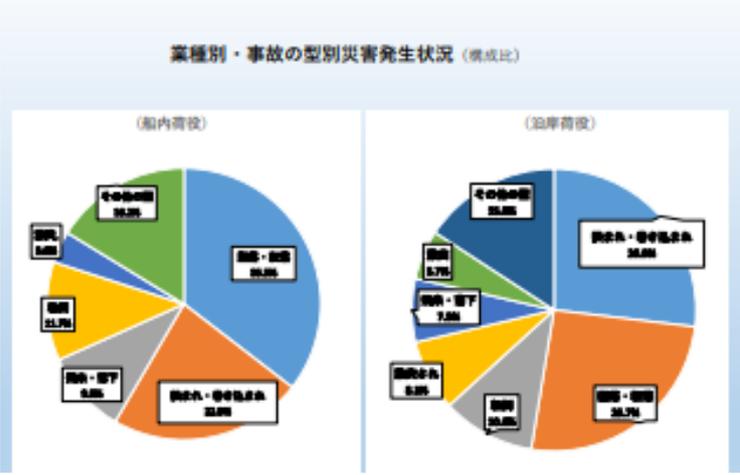
※※
労働災害詳細データをクリック
⇒以下の②-ii 画面へ

※※※
労働災害事例検索をクリック
⇒以下の②-iii 画面へ

②- i 項目別労働災害発生状況画面

2.業種別・事故の型別災害発生状況 (本欄実数、右欄比率)

	船内荷役		沿岸荷役		港湾運送関連		計	
墮落・転落	197	35.5	14	25.7	44	32.4	425	30.1
転倒	65	11.7	60	10.6	12	8.8	263	11.6
衝突	21	3.8	32	5.7	11	8.1	71	5.0
陥没・落下	55	9.9	41	7.3	9	6.6	113	8.0
暴風・吹掃	16	2.9	20	3.5	1	0.7	39	2.8
衝突され	26	4.7	46	8.1	8	5.9	90	6.4
倒まれ・巻き込まれ	127	22.9	152	26.9	34	25.0	354	25.1
切れ・こすれ	6	1.1	5	0.9	6	4.4	19	1.3
踏み歩き	0	0.0	2	0.4	0	0.0	4	0.3
おぼれ	1	0.2	1	0.2	0	0.0	4	0.3
高温・低温のものとの接触	1	0.2	5	0.9	0	0.0	6	0.4
有害物との接触	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
感電	2	0.4	1	0.2	0	0.0	3	0.2
爆発	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
溺死	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
火災	1	0.2	0	0.0	0	0.0	1	0.1
交通事故	1	0.2	4	0.7	1	0.7	6	0.4
動物の反動・無理な動作	28	5.0	44	7.8	8	5.9	90	6.5
その他	4	0.7	6	1.1	0	0.0	12	0.9
計	555	100.0	505	100.0	136	100.0	1411	100.0



②- ii 労働災害詳細データ抽出画面

Excel データ。
分析・加工が可能。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
監理番号	①船種	②年	③月	④日	⑤種	⑥時	⑦年齢	⑧船型	⑨船級	⑩規模	⑪業種	⑫作業	⑬関連機	⑭品名	⑮荷役	⑯事故
23027	大阪	平成23年	2	火曜	14	40~49歳	常用	在来船	19~19A級	60~99人	沿岸	作業				動物の反動・無理な動作
23028	大阪	平成23年	2	火曜	12	30~39歳	常用	在来船	100~200A級	60~99人	船内	作業	積貨装置			墮落
23029	大阪	平成23年	2	木曜	8	30歳未満	常用	RO/RO船	19~19A級	30~49人	沿岸	作業	トラレラー	積貨装置	コンテナ	はたき・粉状物
23030	兵庫県	平成23年	1	水曜	13	30~39歳	常用	コンテナ船	19~19A級	100~299人	船内	作業	ガンリークレーン	その他	コンテナ	はたき・粉状物
23031	兵庫県	平成23年	1	水曜	6	60歳以上	常用		100~200A級	10~29人	沿岸	作業	フォークリフト	積貨装置	荷物	はたき・粉状物
23032	兵庫県	平成23年	2	水曜	14	40~49歳	常用		19~19A級	60~99人	積込・積込機	フォークリフト	バナナ			はたき・粉状物
23033	兵庫県	平成23年	3	水曜	10	60~69歳	常用		30年以上	100~299人	積込・積込機	フォークリフト	その他	コンテナ		はたき・粉状物
23034	兵庫県	平成23年	3	月曜	8	30歳未満	常用		5~10A級	60~99人	沿岸	作業	スタッドレリアー			積荷・転落
23035	中国	平成23年	3	月曜	10	60~69歳	常用	在来船	19~19A級	10~29人	沿岸	作業	移動式クレーン	積荷・積材	ばら物	はたき・粉状物
23036	四国	平成23年	3	金曜	14	40~49歳	常用	コンテナ船	5~10A級	10~29人	船内	作業		その他	コンテナ	積荷・転落
23037	九州	平成23年	2	水曜	9	60歳以上	常用	在来船	100~200A級	30~49人	沿岸	作業	フォークリフト	積荷・積材	素材	はたき・粉状物
23038	九州	平成23年	3	水曜	19	40~49歳	常用	コンテナ船	200~200A級	100~299人	船内	作業				積荷
23039	九州	平成23年	3	土曜	10	60~69歳	常用	在来船	30年以上	60~99人	沿岸	作業	移動式クレーン	積荷・積材	積物	はたき・粉状物
23040	九州	平成23年	3	土曜	9	60~69歳	日雇	在来船	5~10A級	100~299人	沿岸	作業	移動式クレーン	積荷	積物	積荷・転落
23041	沖縄	平成23年	2	月曜	17	40~49歳	日雇		5~10A級	30~49人	沿岸	作業	フォークリフト	積荷	その他	はたき・粉状物
23042	沖縄	平成23年	2	火曜	10	40~49歳	常用		200~200A級	60~99人	沿岸	積込機	移動式クレーン	積荷・積材	家物	はたき・粉状物
23043	北海道	平成23年	6	水曜	19	30~39歳	常用	在来船	100~200A級	100~299人	船内	作業	天吊クレーン	積荷	ばら物	積荷・転落
23044	東北	平成23年					不明	常用			船内					動物の反動・無理な動作
23045	日本海	平成23年	4	月曜	9	40~49歳	常用	在来船	200~200A級	100~299人	沿岸	作業	移動式クレーン	積荷・積材	家物	はたき・粉状物
23046	日本海	平成23年	4	土曜	8	40~49歳	常用	在来船	200~200A級	100~299人	船内	作業	積貨装置	積木	素材	積荷
23047	日本海	平成23年	4	日曜	11	60~69歳	常用	在来船	200~200A級	100~299人	船内	作業	フォークリフト			積荷・転落
23048	日本海	平成23年	6	月曜	14	60歳以上	常用	RO/RO船	30年以上	10~29人	積込・積込機					動物の反動・無理な動作
23049	千葉	平成23年	6	水曜	9	30~39歳	常用	在来船	100~200A級	100~299人	船内	作業	積貨装置	積木	素材	積荷
23050	東京	平成23年	4	火曜	17	60~69歳	常用	コンテナ船	100~200A級	100~299人	船内	作業		その他	コンテナ	積荷・転落
23051	東京	平成23年	5	火曜	10	30歳未満	常用	コンテナ船	19~19A級	100~299人	船内	作業	ガンリークレーン	その他	コンテナ	はたき・粉状物
23052	神奈川県	平成23年	4	水曜	1	30~39歳	常用	コンテナ船	5~10A級	60~99人	船内	作業	トラレラー	その他	コンテナ	陥没・落下
23053	神奈川県	平成23年	4	金曜	23	60歳以上	日雇	コンテナ船	100~200A級	60~99人	船内	作業		その他	コンテナ	陥没・落下

②-iii 災害データ検索画面

災害データ検索 version II

整理番号

総支部 北海道 東北 日本海 千葉 東京 神奈川 東海 大阪
 兵庫 中国 四国 九州 沖縄

発生年 ~ 月 日 時

年齢 30歳未満 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60歳以上 不明

雇用形態 常用 派遣 日雇

経験年数 1年未満 1年~5年未満 5年~10年未満 10年~20年未満 20年~30年未満
 30年以上 不明

事業規模 1~9人 10~29人 30~49人 50~99人 100~299人 300人~
 不明

船型 コンテナ船 RO/RO船 存来船 はしけ その他

業種 船内 沿岸 はしけ いかだ 検査・検定・鑑定 関連 その他

作業職種 船内荷役作業主任者 フォアマン 沿岸荷役主任者 運転者 合図者
 玉掛け者 検査 検定 鑑定 ラッシャー 清掃 整備員
 作業員 その他

関連機械 揚貨装置 天井クレーン ガントリークレーン トランスファークレーン
 移動式クレーン フォークリフト ストラドルキャリアー ショベルローダー
 ブルドーザー クラムシェル トラクターショベル フォークローダー
 トレーラー その他

品名 原木 炭材 合板 串 鋼管・鋼材 バナナ くず鉄
 冷凍魚 鉱石 石炭 チップ 雑貨類 原糖 飼料
 ロール紙 こく物 その他

荷役等 素材 貨物 ベール 棒物 束物 ばら物 積物 缶物
 棒物 コンテナ 串 その他

事故の型 墜落・転落 転倒 衝突 飛来・落下 崩壊・倒壊 激突され
 はさまれ・巻き込まれ 切れ・こすれ 踏み抜き おぼれ
 高圧・低圧のものとの接触 有害物等との接触 感電 爆発 破裂 火災
 交通事故 動作の反動・無理な動作 その他

起因物 動力機械 物上げ装置・運搬機械 その他の装置等 仮設物・建築物・構築物等
 物質・材料 荷 環境等 その他

発生状況
 原因 キーワードを入力してください OR (いずれかに一致) AND (すべてに一致)
 対策 ※キーワードが複数ある場合はスペースまたはカンマ区切りで入力してください

検索事項を入力し、
データ検索をクリック
 ⇒検索結果一覧画面へ

【検索結果一覧画面】

検索結果: 203件 [1件~10件] 発生年が新しい ▼

整理番号	総支部	業種	経験年数	事故の型	起因物	詳細
2143	九州	船内	1年未満	墜落・転落	物上げ装置・運搬機械	詳細
2141	中国	船内	30年以上	墜落・転落	仮設物・建築物・構築物等	詳細
2139	兵庫県	船内	20年~30年未満	墜落・転落	荷	詳細
2136	大阪	船内	1年未満	墜落・転落	起因物 その他の装置等	詳細
2135	大阪	船内	1年未満	墜落・転落	その他の装置等	詳細
2092	神奈川	船内	不明	墜落・転落	起因物 物質・材料	詳細
2101	大阪	船内	20年~30年未満	墜落・転落	起因物 荷	詳細
2094	東海	船内	5年~10年未満	墜落・転落	起因物 荷	詳細
2093	東海	船内	5年~10年未満	墜落・転落	起因物 仮設物・建築物・構築物等	詳細
2085	日本海	船内	20年~30年未満	墜落・転落	起因物 仮設物・建築物・構築物等	詳細

◀ 前へ 次へ ▶

閲覧したい事例の**詳細**をクリック
 ⇒事例詳細画面へ

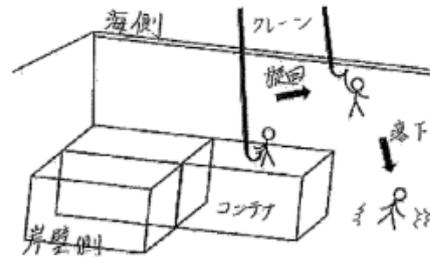
【事例詳細画面】

災害事例（ 2143 ）

（業種） 船内	（年齢） 30歳未満
（事故の型） 墜落・転落	（経験年数） 1年未満
（起因物） 物上げ装置・運搬機械	（作業職種） 作業員
（休業見込み）	（関連機械） 揚貨装置
	（品名） その他
	（荷姿等） その他

発生状況
被災者は船内にコンテナを積み込み後、船内にてクレーンのフックを外し、クレーンの巻上げに備えて吊り具のブレを防ぐため両手で吊り具を保持していた。デッキマンが船内の安全確認後クレーンオペレーターに無線で巻き上げを指示、巻き上げを開始した直後にフックの先端が被災者の右手の革手袋の隙間に入り込み体全体が吊上げられた。船内からの声で異常に気づき直ちにクレーンを停止したが、停止のはずみで手袋からフックが外れ、被災者は約6mの高さから落下し、船底に右足から着地しそのまま倒れ腰などを強打した。
原因
<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナからの墜落防止措置を行っていなかった。 ・被災者が吊り具を保持することに集中してクレーンフックの位置を確認していなかった。 ・作業員相互の連絡調整が十分に行われていなかった。
対策
<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナの上で作業を行う場合は、ポールを立てロープを張るなどにより転落防止措置を行う。 ・作業手順を遵守し作業員相互の連絡調整を適切に行う。 ・安全に対する意識を向上させるためリスクアセスメント、KYT等の教育を行う。

【略図・写真】



災害データ検索の活用例

災害データ検索では、キーワードを入力して事例検索を行うこともできます(AND 検索。OR 検索とも可能)。こうした機能も用いた災害データベースの活用例を以下に示します。参考として下さい。

シーン 作業前ミーティングでの指示内容を考えたい

明日、船内での作業があるが、天気予報では、この先数日、雨が降りやすい日が続くとされている。激しい雨に見舞われるおそれもありそうだ。作業前のミーティングで指示する内容の参考としたいので、雨天が関係した本船デッキ上での災害事例を知りたい。

キーワードを入力してください の欄に **雨 デッキ** と入力し AND 検索を選択

事例の一覧を表示。(14件 事例の詳細の一部を以下に掲載)

★災害事例

(事故の型) 転倒 (起因物) 仮設物・建築物・構築物等
(休業見込み) 10日 第10・12胸椎、第1・2・3腰椎横突起骨折

【発生状況】

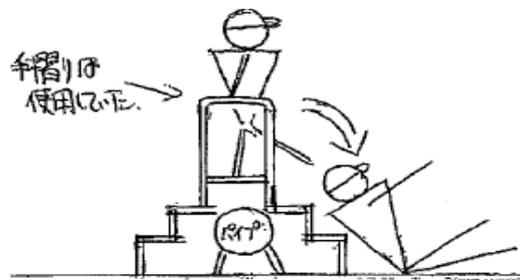
被災者は岸壁に接岸中の本船デッキ上にて合図作業を行っていた。右舷側から左舷側へ移動する際、パイプを乗り越えるための階段(3段)の最上部で足を滑らせて後側へ転倒し、背中を階段部分に強打した。

【原因】

雨が降っている中で雨と油分で階段と安全靴が滑りやすくなっていた。

【対策】

- ・雨の日は滑りやすい状況になることをツールボックスミーティングで周知する。
- ・安全靴に油分が付着した場合はウェス等でふき取ることを指導・徹底していく。



★災害事例

(事故の型) 墜落・転落 (起因物) 荷
(休業見込み) 3ヶ月 左肩鎖骨関節脱臼 左側頭部皮下血腫

【発生状況】

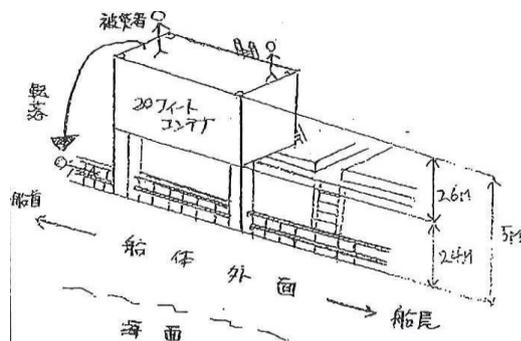
本船デッキ左舷側1本目のコンテナをデッキ上に積んだところで、コンテナ側面にハッチカバー上から梯子をかけ、コンテナ上面に上がって船首側に移動中に、足を踏み外してコンテナ上面から5m直下の甲板通路上に落下して受傷した。

【原因】

- ・コンテナの端に墜落防止の手摺等を設置していなかった。
- ・当時1時間当たり23ミリの雨が降っており、周りが見にくかった。

【対策】

- ・高さ2m以上の場所で作業させる際は墜落防止措置を確実に行わせる。
- ・降雨等の場合の作業について作業中止の基準等を定めておく。



ヒヤリ・ハット事例情報検索の操作方法

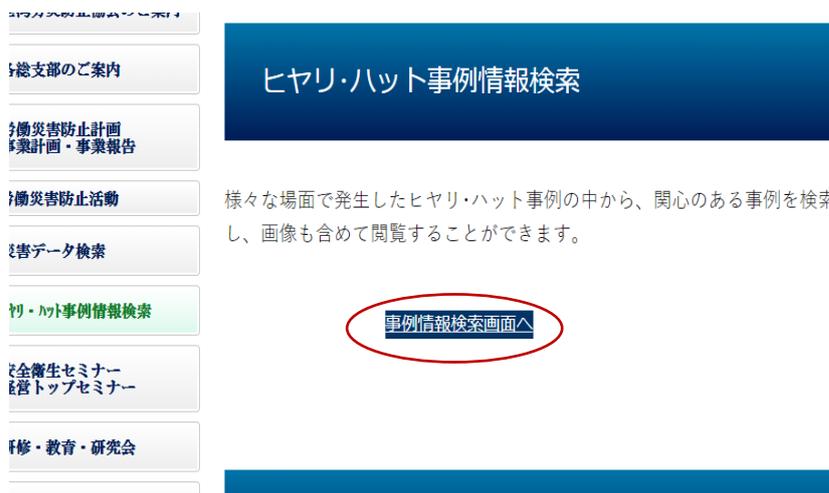
① ホームページトップ画面

「ヒヤリ・ハット事例情報検索」をクリック



② ヒヤリ・ハット事例情報検索画面

「事例情報検索画面へ」をクリック



③ 検索事項入力画面

検索したい事項を入力し「データ検索」をクリック

④ 検索一覧画面

「詳細」をクリックすると
個別の事例の内容を表示

整理番号	作業の種類	体験者の年齢	起きた場所	ヒヤリ・ハットの概要	災害となった場合に考えられる事故の型	詳細
1005	その他	50～59歳	上屋内	ヒヤリ・ハットの概要 凍結していた階段で転倒しそう	災害となった場合に考えられる事故の型 転倒	詳細
4029	その他	30～39歳	上屋内	ヒヤリ・ハットの概要 倉庫から出ようとした時ダンパーが走行してきて接触しそう	災害となった場合に考えられる事故の型 激突され はさまれ・巻き込まれ	詳細
2008	作業の種類	体験者の年齢	起きた場所 コンテナヤード	ヒヤリ・ハットの概要 コンテナの隙からトラックが飛び出し	災害となった場合に考えられる事故の型 激突され	詳細
2001	作業の種類 その他	体験者の年齢 30歳未満	起きた場所 その他の場所	ヒヤリ・ハットの概要 シートをめくる作業で転倒しそう	災害となった場合に考えられる事故の型 墜落・転落 転倒	詳細
11033	作業の種類 沿岸	体験者の年齢 50～59歳	起きた場所 本船甲板上	ヒヤリ・ハットの概要 デッキ上を通行時、雨で濡れていたためスリップしそうになった。	災害となった場合に考えられる事故の型 転倒	詳細
2006	作業の種類	体験者の年齢	起きた場所 本船甲板上	ヒヤリ・ハットの概要 コンテナ船での作業でロングバーが落下	災害となった場合に考えられる事故の型	詳細
2005	作業の種類	体験者の年齢	起きた場所	ヒヤリ・ハットの概要 トレーラーに接触しそ	災害となった場合に考えられる事故の型	詳細

⑤ 事例詳細画面

ヒヤリハット事例情報 (港湾防災協会の)

データ番号	KH06011
(作業の種類)	沿岸
(体験者の年齢)	30歳未満 (経験年数) 5～10年未満
(起きた日時)	2020年 1月 午前10時
(起きた場所)	その他
(関連する機械)	フォークリフト

【ヒヤリハットの状況・内容】
 貨物のコンテナ詰め作業でフォークリフトを誘導して置いてある貨物にぶつかりそうになった。

【再発防止対策】
 フォークリフトを誘導する際、周囲の確認を行い自分の安全を確保した状態で作業を行う。

略図・写真

※災害となった場合に考えられる事故の型(複数可)

激突 はさまれ・巻き込まれ

ヒヤリハット事例情報の活用例

ヒヤリハット事例情報の活用の一手法として、災害データベースも併せて使用し、作業現場で把握した危険（ヒヤリハット）からどのような災害が発生する可能性があるかを推察することができます。以下にこの方法により作成した参考例を掲載します。ケースはハシゴ使用時の危険についてです。

・ヒヤリハット事例

【ヒヤリハットの状況・内容】

石灰石揚げの作業で荷役状況を確認し、本船船員が設置したはしごを使って岸壁に降りようとした際、はしごから足を踏み外し海に転落しそうになった。

【再発防止対策】

はしごのステップをよく見て慌てずゆっくり降りるようにする。セーフティブロック、ライフジャケットの装着。

【災害となった場合に考えられる事故の型】

おぼれ



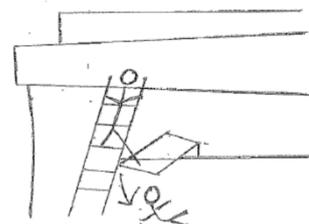
・実際に起きた災害事例

(事故の型) 墜落・転落 (起 因 物) 仮設物・建築物・構築物等

(休業見込み) 2 ヶ月 右足股関節恥骨骨折

【発生状況】

本船の荷役作業中、昼食時間の交代で作業を中断して作業場より備え付けのハシゴを使いデッキ部に降りようと左足をハシゴにかけ、右足をハシゴの横にある台にかけたところ、右足が滑って落下し右太もも部分を打撲した。
ハシゴの昇降時に 3 点支持が行われていなかった。



(事故の型) 墜落・転落 (起 因 物) 仮設物・建築物・構築物等

(休業見込み) 6 週間 右踵骨骨折

【発生状況】

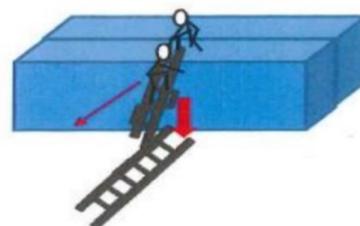
バナナの積み込まれたコンテナの揚荷役をしていて、本船所有のハシゴを使用して 1 段目のコンテナに上がろうとしたところ、ハシゴが滑り転倒しそうになり、ハシゴから離れようと約 1.5m の高さからデッキに飛び降りた際に右踵を負傷した。

【原因】

本船所有のハシゴ(3 m40cm)を使用し、上部に 30cm しか出しておらず無理な姿勢で支えていたため、ハシゴの下部が滑った時に上部で持ち堪えることができなかった。

【対策】・

- ・ハシゴを使用してコンテナに昇る際は、必ず社所有のハシゴ(4 m、接地点に滑り止め付き)を使用する。
- ・ハシゴを使用する際は、立て掛け角度 75 度や上部を 60 cm 以上出すなど安全な掛け方を再周知し徹底する。



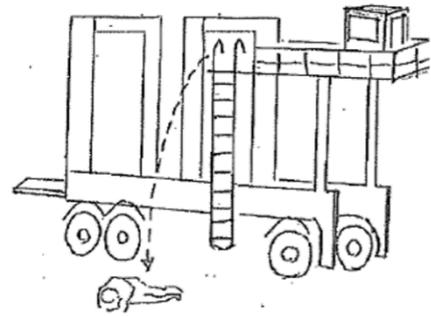
(事故の型) 墜落・転落 (起 因 物) 物上げ装置・運搬機械
(休業見込み) 6 ヶ月 骨盤骨折、腰骨破裂骨折、右足首骨折

【 発生状況 】

上屋前のコンテナ蔵置場でストラドルキャリアの始業前点検を単独で行っていた。
その後、機器に設置されている昇降用の垂直ハシゴを使用して降車する際、約 6m の高さから地面に墜落して負傷した。

【 対 策 】

昇降用のハシゴに墜落防止用のセーフティブロックの設置が有効か検討。



(事故の型) 墜落・転落 (起 因 物) 仮設物・建築物・構築物等
(休業見込み) 3 カ月 右足踵粉碎骨折

【 発生状況 】

被災者は、本船水切作業の船内雑作業に従事するため、本船中甲板上を通り、本船の縄梯子を使用し船内に降り始めたところ、縄梯子の 4 段目を踏み外し、ローホールドまで 7.9m の高さから墜落し、右足踵を強打し負傷した。

【 原 因 】

- ・ 船内での昇降に不安定な縄梯子を使用した。
- ・ 縄梯子の昇降時に 3 点以上での体の支持が徹底されていなかった。
- ・ ベルブロック等の墜落防止措置を講じていなかった。

【 対 策 】

- ・ 船内での昇降には可能な限り不安定な縄梯子ではなくアルミ等の梯子を使用する。
- ・ 梯子での昇降時の 3 点以上での体の支持を徹底する。
- ・ ベルブロック等の墜落防止措置を講じる。

